

東北地方 1 か月予報

(7月14日から8月13日までの天候見通し)

平成19年7月13日
仙台管区气象台発表

<特に注意を要する事項>

東北地方では、1週目は太平洋側を中心に気温が低くなるおそれがありますので、農作物の管理に注意して下さい。

<予想される向こう1か月の天候>

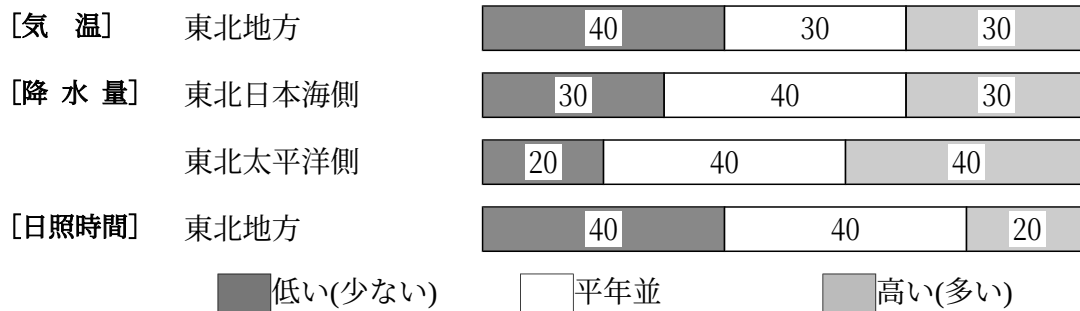
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北地方は平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

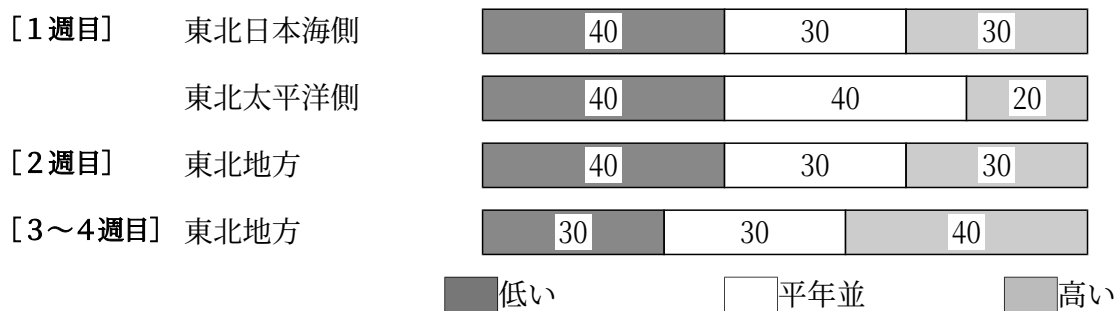
向こう1か月の降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率がともに40%です。日照時間は東北地方で平年並または少ない確率がともに40%です。

週別の気温は、1週目は東北太平洋側で平年並または低い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 7月14日(土) ~ 8月13日(月)
1週目 : 7月14日(土) ~ 7月20日(金)
2週目 : 7月21日(土) ~ 7月27日(金)
3~4週目 : 7月28日(土) ~ 8月10日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は7月20日
3か月予報: 7月25日(水) 14時

<参考資料（平年並の範囲等）>

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(°C)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	22.7	108.6	191.3	21.1	22.4	23.6
深浦	22.8	143.4	190.6	21.3	22.7	23.5
むつ	21.2	113.2	161.9	19.5	20.9	22.1
八戸	21.9	108.3	181.0	20.1	21.6	22.8
秋田	24.2	160.9	193.7	22.7	24.1	24.9
盛岡	23.1	161.6	160.6	21.7	23.0	23.8
大船渡	22.5	152.4	166.1	20.9	22.2	23.3
宮古	21.6	132.1	166.3	19.9	21.3	22.5
仙台	23.6	148.8	151.1	21.9	23.3	24.4
石巻	22.9	112.3	171.3	21.3	22.6	23.6
山形	24.6	138.0	180.3	23.1	24.5	25.3
新庄	23.7	167.7	178.9	22.2	23.6	24.4
酒田	24.6	162.1	210.1	23.1	24.5	25.3
福島	25.0	135.5	156.7	23.4	24.8	25.7
若松	24.7	141.4	196.4	23.3	24.6	25.3
白河	23.2	182.1	152.6	22.0	23.0	23.7
小名浜	23.1	112.4	183.9	21.7	22.8	23.7

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6～+0.7	74～117	90～112
東北日本海側	-0.6～+0.6	77～116	92～112
東北太平洋側	-0.5～+0.8	76～117	91～115

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.9～+1.0	-0.6～+1.1	-0.5～+0.9
東北日本海側	-0.8～+0.8	-0.6～+1.0	-0.7～+0.8
東北太平洋側	-0.9～+1.1	-0.6～+1.3	-0.4～+0.9

<参考資料（利用上の注意）>

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 19 年 7 月 13 日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (7 月 14 日～8 月 13 日) :

前線や気圧の谷の影響で、東北地方は平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は各階級の偏りは小さい。

なお、1週目は東北太平洋側を中心に気温が低くなるおそれがありますので、農作物の管理に注意してください。

1 週目 (7 月 14 日～7 月 20 日) :

期間の前半は、梅雨前線や台風の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、晴れる日もありますが、気圧の谷の影響で曇る日が多い見込みです。

なお、東北地方は 15 日から 16 日頃にかけて、台風第 4 号の影響で荒れた天気となるおそれがあります。

平均気温は東北太平洋側で平年並または低い確率がともに 40% です。

2 週目 (7 月 21 日～7 月 27 日) :

前線や気圧の谷の影響で、東北地方は平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は各階級の偏りは小さい。

3～4 週目 (7 月 28 日～8 月 10 日) :

太平洋高気圧に覆われ、平年と同様に晴れる日が多いでしょう。一時前線や湿った東風の影響で、天気がぐずつくこともある見込みです。

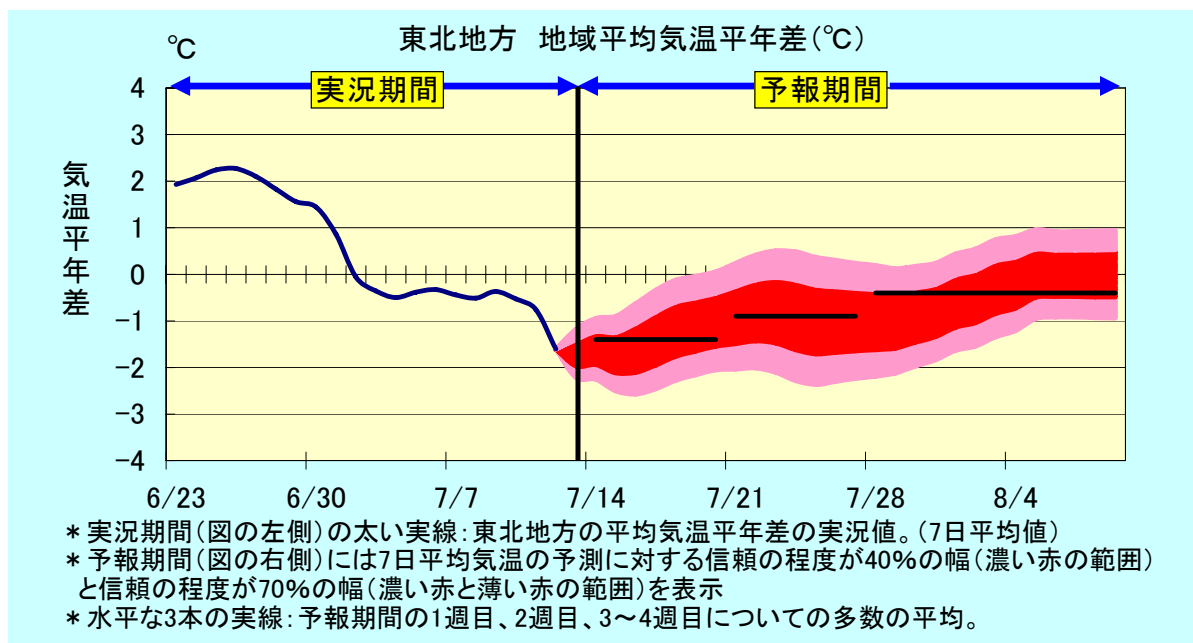
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	15.5 日	3.1 日	4.1 日	8.3 日
東北太平洋側	13.8 日	2.6 日	3.5 日	7.7 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1 週目、2 週目ともに平年を下回る予想となっており、3～4 週目はおおむね平年並の予想となっている。

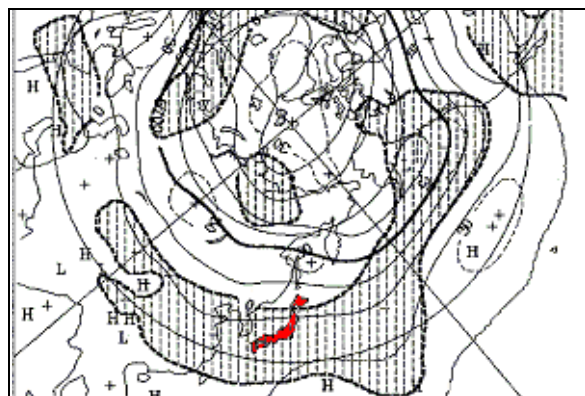


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

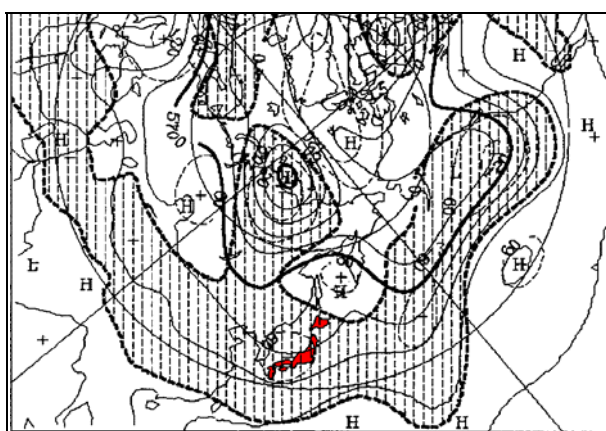
1か月平均: 太平洋高気圧の北への張り出しは弱く、日本付近は負偏差。極を取り巻く高緯度付近は正偏差。東北地方は、寒気の影響を受け低温の時期がある見込み。

1週目: 太平洋高気圧の北への張り出しは弱く、日本付近は負偏差。オホーツク海付近は等高線が北に盛り上がり、地上ではオホーツク海高気圧に対応する。東北地方は寒気や冷たく湿った東風の影響で太平洋側を中心に低温の可能性はある。

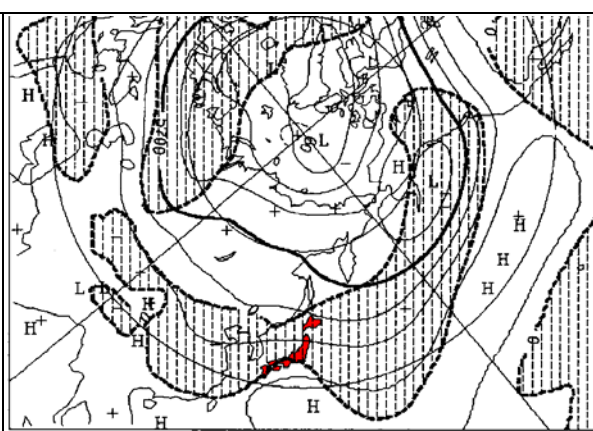
2週目: 太平洋高気圧は北へやや張り出す。東北地方は、前線の影響で平年に比べて曇りや雨の日が多い見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図



2週目平均 500 hPa 予想天気図

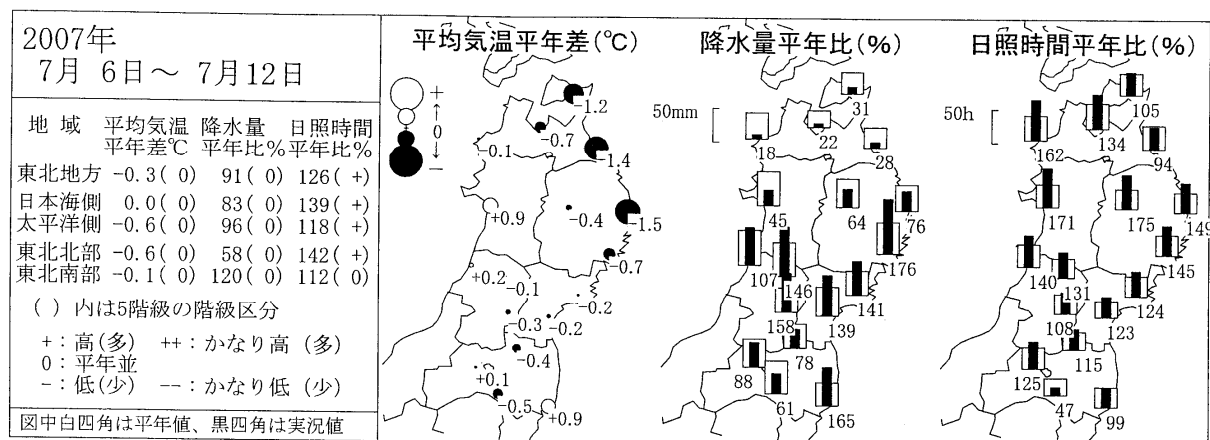
実線は、等高線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（7月6日～7月12日）の天候の経過

この期間、高気圧に覆われ晴れの日が多かった。11日からは、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨となり、東北太平洋側の沿岸部を中心に低温となった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北地方で平年並。日照時間は東北北部で多く、東北南部で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)